



# みどりっ子



## 陸上大会に見たドラマ・・・日々の積み重ねが生きた！

今年度の陸上大会も本校の多くの選手が入賞し、たくさんの賞状をいただきました。上位入賞者が例年に増して多く、大変すばらしい活躍ぶりでした。参加したどの選手の頑張りもすばらしかったのですが、私は、6年生のリレーチーム(特に女子)の走りにドラマを見ました。



今市ブロックの陸上大会の規則で、リレーは3つの組に分かれて走り、それぞれの組の1位チームは必ず決勝に残れます。決勝は6チームの争いですから、残りの3チームは、それぞれの組の2位以下のチームから、走ったタイムのよい順に3チーム選ばれるというシステムになっています。そんなシステムの中で、女子チームが頑張りました。

6年生女子チームメンバー4人は、100mの種目で決勝に残れた選手はいません。だから、個々の能力では他の学校には勝てない。バトンパスが勝負の分かれ目でした。

予選のレースがスタート。選手たちはバトンに思いをつなげて一生懸命走りました。そして予想外の(失礼!)1位でアンカーにバトンパス。アンカーはどのチームも強豪揃いです。本校のアンカーも必死に走りましたが、残念ながらゴールの近くで他の学校の選手に抜かれてしまいました。しかし、抜かれはしましたが、アンカーは自分を抜いた相手に追いつこうと必死に走りました。

結果は2位でした。決勝に残れるかどうかは、他の組の結果次第です。そして、決勝進出チームの発表…、本校の女子チームは、予選タイム6位で決勝進出…、タイムで最後に残って、ぎりぎり決勝進出を果たしたのでした。

私は、このレースが忘れられません。この子たちのことを伝えなければならぬと思いました。

「もし、自分がアンカーの立場だったら…。」想像してみてください。抜かれたことにながっかりして、全力で走るのをあきらめたりしないでしょうか? でも、もしあの時、アンカーが少しでも力を抜いたら、6位で決勝に残れなかったでしょう。大室小の女子チームのアンカーは最後まであきらめずに走り抜けました。その気持ちは、一体どこから生まれたのか?

陸上大会までの毎日、6年生のリレーチームは、男女とも休み時間ごとに集まって、バトンパスの練習をしていました。強制されたわけではなく、自主的に集まっていました。

最初は、リレーで賞状を取りたいという強い思いからだっ

たのでしょ。しかし、子どもたちの練習する姿を見ているうちに、私には、集まって練習すること自体を楽しんでいるように見えてきました。補欠の選手も集まって、バトンパスの練習をする選手たちを応援してくれていました。

「きっと、神様が、頑張った6年生にご褒美をくれたんだ。」…そういう言う人がいるかもしれません。

しかし、この子たちの毎日の練習風景を見ていた私は、そうは思わない。自分たちで積み上げてきた練習の成果が、まじめに取り組んできた努力が、結果となって現れたのだと思います。気持ちを一つにして練習した中で芽生えた「思い」がアンカーをがんばらせたのだと思えてなりません。日々の積み重ねが生きたのです。決して「神様のおかげ」ではありません。

毎日、自主的に集まり一生懸命練習してきたことで、あきらめない心、強い心が育ちました。友達と協力して練習したことで、強い「思い」を共有しました。

チームは、決勝では順位を一つ上げて5位でした。補欠も含めて全員で勝ち取った5位だったと言えるでしょう。(6年生男子チームも、決勝でアンカーがバトンを受け取って、相手チームを抜き返して1位になりました。)

すぐにあきらめる、友達の悪口を言う、できないことを人のせいにする、生活の決まりを守れずに自分勝手な行動をする…、こんな態度の人は、ここぞというときのもうひとがんばりができないのです。普段の生活の心が弱いからです。

6年生のリレーチームのがんばりは、「大切なのは毎日の生活の積み重ねなのだ」ということを、私に改めて感じさせてくれました。 [※ 朝礼で子どもたちに話した内容です。]

### 陸上大会入賞者

□4年100m	女子2位	E. M
□5年100m	男子1位	H. H
	3位	S. R
□6年100m	男子2位	O. S
	6位	M. R
□1000m	男子1位	K. T
	3位	K. K
	女子6位	O. A
□走り高跳び	男子6位	T. K
□走り幅跳び	男子2位	F. R
□400mリレーA(6年)	男子	1位
	女子	5位
□400mリレーB(4.5年)	男子	1位
□ソフトボール投げ	男子1位	I. Y
	2位	S. K

## 今月の がんばる「みどりっ子」たち

### 学び直しもりもり学習(10/4)

「学び直しもりもり学習」。これは、学力向上に向けた基礎学力の定着を目指して、運動会後から、本校で始めた新たな取組です。全校的に実施した計算の既習事項のテスト結果を基にして、学び直しを希望した子どもたちに、学年を遡って学習の機会を保障する取組です。(子どもたちの希望に加えて保護者の皆様の同意が必要です。)

現在、4年生と5年生の15名の子どもたちが、毎週金曜日の朝の学習の時間に、学習室で学び直しを頑張っています。校長、教頭、教務主任、TT担当教員が子どもたちの指導に当たっています。

児童の学力向上に向けた新しい取組です。お子様に少しでも算数の計算のどこかで困り感があるのなら、参加を検討してみませんか？



### ふれあい活動(10/26)

さつまいもの収穫とふれ合い活動を行いました。予定日が雨だったため、招待者の皆様の参加は少なくなりましたが、一緒にいもをほったり、一緒に遊んだり、昔の学校の様子を話していただいたりして、たくさんふれ合うことができました。

招待者の皆様も大変喜んでくださいました。



※ 収穫されたさつまいもは、給食の「秋野菜のカレーライス」に使用しました。「甘くておいしい。」という声がたくさん聞かれました。

### 学習発表会(10/30)

今年度の学習発表会も、各学年とも工夫を凝らした演技を見せてくれました。練習期間は十分とは言えない中でのあのすばらしい演技の数々…。改めて本校の子どもたちの「持っている力」の大きさと可能性を感じました。(その力を引き出した先生方の指導力も凄い！)

当日は大勢の皆様にお越しいただき、ありがとうございました。感想等をぜひお寄せください。



【スローガン最優秀賞作品の表彰】



【1年生「なかなかおり」】



【2年生「ハピネス・イズ・ヒア」】



【3年生「52ひきのねこ」】



【4年生「車の色は空の色」】



【5年生「月夜のみみずく」】



【6年生「走れ メロス」】



【全員で「花はさく」の合唱】

### 表彰関係

- 第8回日光市スポーツ少年団新人剣道交流大会  
団体戦優勝 小学5年男子の部3位 F. R
- 第8回日光市空手道連盟選手権大会  
小学3, 4年形の部3位 組手の部3位 T. Y  
同 男子の部敢闘賞 N. Y
- 第26回ひろしコート大会優勝 K. F
- 落合・大沢スポ少学童親善試合優勝 大室ブルーサンダース
- 実用英語技能検定5級合格 H. Y
- 栃木県学生音楽コンクール銀賞 U. T
- 日本合奏コンクール全国大会ソロ部門  
小学校の部金賞及び郡山市長賞 B. S